

わたの丘

和田だより 第521号 (令和4年7月20日)



学校HP QRコード



交通安全教室から

コロナ禍3年目で迎えた夏をどう過ごすか・・・

雨の降らない梅雨で終わったと思いきや、7月に入ってから思い出したかのように雨の日が続き、天候に振り回された気分ではありますが、近畿地方にも本格的な暑さが到来しました。しかし、未だにコロナウイルス感染症の影響は続き、保護者・地域の皆様方におかれましては、体調管理にも気を配られてお過ごしのことと存じます。本校においては、感染予防対策など継続しながらではありましたが、予定しておりました行事等も皆様のご協力のおかげで、無事終えることができ、1学期終業式を迎えることができました。

前回の学校だよりでも書かせていただいた6月の2年生職場体験の結団式で、その仕事の持つ意味や役割についても学んでほしいと2年生に伝えた後日に研修機会があり、京都が誇る大企業「京セラ株式会社」の広報室長 古川 英里氏のお話を聞かせていただく機会がありました。そこでの古川氏のお話の中で現在は大きな会社となった京セラの経営理念のベースには人から愛され、人のために役に立つ企業でありたいという思いと人権尊重をベースとした経営哲学(京セラフィロソフィ)に基づいた経営を続けて来られたという「仕事の意味」を考えさせられるお話を聞かせていただきました。現在は名誉会長であられる京セラ創業者の稲盛和夫氏の経営哲学について過去に研修を受けた時のことを思い出し、稲盛氏が提唱する有名な「人生の方程式」というのが今でも自身の生き方に影響を与えております。「人生の方程式」それは、「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」であるということです。中でも重要なのは「考え方」であり、それには-100点から+100点までの範囲で数値を式に当てはめます。出てくる数値はいくら能力や熱意があったとしても、「考え方」次第でマイナスの数値になってしまうということです。「考え方」は人そのものの生き方であると思いますが、その人自身のもつ「思いやりの心」や「人柄」が大きく影響するものだと思います。そもそも方程式というのは、ある特定の値を代入して計算したときにのみ成り立つ等式を意味します。だから人によって特定の値があり、人それぞれで成り立つ等式であると思えますし、その特定の値は生き方や努力次第で変わる可能性があります。7月2日のKDDIの通信トラブルは記憶に新しいですが、稲盛氏はKDDIの創業者でもあります。なぜ、京セラが通信業界に参入したのかは稲盛氏の経営哲学に基づくものでありましたが、ここではお話は控えさせていただきます。

さて、コロナ禍3年目で迎えた夏ですが、一昨年度は、総体のすべての上位大会が中止となり、2年目、3年目と経過する中でコロナウイルスと向き合い、対策を講じて復活できる大会や行事も増えてまいりました。何より生徒にとってはスポーツや行事など思い出に残るものが多く存在していることから、できることが増えることは大変喜ばしいことだと考えております。しかし、これまでコロナ禍を経て、大きく変わった世の中の動きに対して、学校においてもたくさんの改革や改善を図ってきており、今後、すべてを復活できる状況には決してありませんが、たくさんの方々のご協力やお力によって、学校の取組も再開できるようになったことに感謝申し上げます。すでに終わってしまった部活動もありますが、夏の総体ではたとえ勝負の世界であったとしても、競技に臨む心構え・マナー、チームとしての大切な絆だけではなく、コロナ禍の中で開催される大会であるからこそ、「感謝」や「人を思いやる」という大切な心も学んでほしいと生徒には話をしました。「感謝」や「人を思いやる」心はすべての人に対してです。チームの仲間や相手チーム、応援してくださる方々、そして自分自身にも……。感謝や思いやりの心が人を育てると思っておりますし、稲盛氏の「人生の方程式」を高い数値にもっていつてくれるものと考えます。勝ち負けは当然ありますが、どのように自分は部活動と向き合ってきたのかを考える機会となり、自分自身が試される大会でもあります。大会は自分を囲む多くの方々への支援により実現するものであり、そのことに感謝するとともに、ぜひ悔いのない戦いで終え、これからの夏の期間を充実させてほしいと願っています。

本年度も夏の総体は感染予防対策を講じて、実施していく方向で進められています。本大会を応援いただく方々にも、感染予防対策や制限をかけさせていただいての大会となりますこととお許しください。

いよいよ明日から学校は夏季休業に入ります。感染予防に高い意識を持って十分な対策を行っていただき、健康に過ごされますことをお祈り申し上げます。また、生徒の皆さんは交通事故にも十分気を付けて命を守る行動を心がけ、健康で安全に夏休みを過ごしてほしいと思います。保護者・地域の皆様、どうか夏季休業中も生徒を見守ってやっていただきますようお願い申し上げます。

校長 荒賀 洋